

2024年7月カレンダーレポート

暑さの続く7月である。今年の暑さはとんでもなく、連日35度を超える日々が続いている🥵
そんな中、おおいたAIテクノロジーセンターの今年度のキックオフとなるイベントを無事に開催することができた。

生成系AIが急激に進化し、一般的にもかなり注目をされ始めている昨今、おおいたAIテクノロジーセンター（※以下、AIセンター）の活動は5年目を迎えている。昨年度より、AIセンターの体制を見直し、大分県内におけるAIビジネス創出を強化してきた。活動の幅も深く、広がり、参加メンバーも増加傾向にある。この変革により、AIセンターは地域社会におけるAI技術の普及と啓発活動を一層推進している。具体的には、地元中小企業のAI案件の伴奏支援や、県内企業を対象とした研修会の実施、AI利活用アイデアの創出を行っている。

さらに、AIセンターは教育機関とも協力し、AIに関する講座やアイデアソンを開催することで、次世代のAI人材育成にも力を入れている。特に、学生向けのワークショップは人気が高く、参加者は楽しみながらAIに関する知識を身につけることができると好評を得ている。そして何より、活動をしていくなかで、圧倒的に感じる生成系AIの需要。学生向けイベントや工業連合会主催のイベントで行った「生成AIを活用した物語作成ワークショップ」はかなりの盛り上がりを見せ、AIを身近に感じつつ、楽しくAIを使えることでとても好評だった❤️

このような背景のもと、今年度のキックオフイベントでは、生成系AIを含めた最先端技術が紹介され、多くの参加者がその可能性に期待を寄せた。また、今年度の活動方針や生成AIを含めたビジネス支援の活用に関する発表も行われ、地元企業の経営者や技術者、教育機関の代表者など、多くの関係者が集まり、懇談会も含めてAI技術の最新動向とそのビジネス活用の可能性について熱心に議論が交わされた。

AIセンターは、今後もおおいた県におけるAI技術の普及と人材育成を推進する活動を続けていく方針である。8月以降には、様々なAI関連のイベントや研修会を控えている。さらに、12月には『気軽に参加できるAI勉強会』をテーマとした「おおいたAI寺子屋」という研修会を計画している。学生から社会人までのAIに興味関心のある人たちで集まり、AIについて学び、試していく、そんな場を提供していくことができたらと考えている🤖🌟

これらの活動を通じて、AIセンターは今後も地域社会におけるAI技術の発展に貢献し、地域の未来を築く一助となることを目指している。昨今の暑さに負けず、今後もおんせん県おおいたにおいて熱くAIの可能性を追求し続ける所存である。

(文責：坂口萌々子、三重野正己)